

# NDSメンテ通信

ご入居者様情報誌

2018年秋

No.7号

編集・発行

NDSメンテ株式会社

名古屋市千代田二丁目15-18

ご入居者様へ

秋色の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、皆様にお届けするメンテ通信も今回で7回目となりました。

楽しくご購読頂けているでしょうか？ 皆様が、快適に末永くお住まいでお過ごしいただけるよう、NDSメンテ(株)から住まいに関する情報や楽しいトピックス等を発信していますので、ご参考にして頂ければ幸いです。

今年は、猛暑・豪雨・台風・地震と50年に一回と言われる現象や災害が起きています、今回はそんな災害が起きた時のために何を準備したら良いかを考えてみました。今回は地震対策についてのご参考情報です。

大地震  
来たっ!!

## 大地震!!その時、どうする!?

NDSメンテ地震かるた

### 「緊急地震速報」とは

地震は殆ど前触れもなく突然起こります。

「緊急地震速報」は予知システムではなく、地震の初期微動（P波）を感知して解析し、続く大きな揺れ（S波）を通知する仕組みです。



そのため、通知直後に大きな揺れが襲います。震央に近かったり直下型地震では、P波とS波が同時発生します。緊急地震速報の前に揺れることもあり、緊急地震速報を受けたらすぐに命を守る行動をとってください。

### いの一番に「命を守る」

地震で建物が倒壊するまでには一定の時間が掛かります。地震の揺れは、一気に押し寄せる土石流災害や爆発物が爆発する

ような瞬間的破壊力ではありません。

揺れ始めてからでも、落ち着いて行動すれば、命は守れます。



何かをしようとか、持ち出そうとか、火元を確認するなどの行動はやめて、目の前の安全な場所（テーブルの下など）で身を屈めることが「命を守る」行動となります。

大地震  
その時

## 慌てず・焦らず

大地震  
その後

## 家族の安否

### 地震直後の行動

地震の直後、揺れがおさまってから行動。

- 1 季節や天候に応じた衣服、厚底スニーカーを着用。
- 2 懐中電灯と予備電池を携帯。
- 3 ラジオで情報を入手する。
- 4 避難用に窓やドアを開ける。
- 5 水道が出る間は水を溜める。
- 6 ガスの元栓を閉める。
- 7 電気分電盤をOFFにする。
- 8 非常持出袋を背負う。
- 9 災害時避難所へ。



### 地震発生後の家族の安否確認

大地震後は、電話やインターネットが使えなくなる状況が発生します。会社や学校からの帰宅困難や、家族間での連絡不通となったときに備え、事前に行動を決めておきましょう。

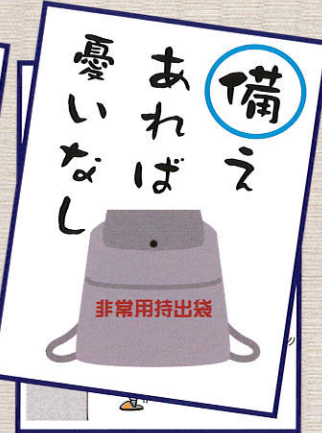
- 1 自宅が被災したときの避難先。
- 2 会社や学校からの帰宅行動。
- 3 相互の安否確認に必要な連絡手段。  
例えば、「非常用伝言ダイヤル（局番なしの171）」や「非常用伝言版」を利用するなどを決めておきます。

# 大地震 その前に.. 危険を除く

## 部屋の中の危険を取り除く

部屋の中は危険、転倒したり動き回る家具、金属や割れたガラスが散乱します。

- ① 寝室や居間、ドアの周りに背の高い家具は置かない。
- ② 大型家具はL字型金具などで壁に固定。大型電化製品は底部に粘着マットを敷く。
- ③ 窓ガラスは飛散防止フィルムを貼るか強化ガラスに変更。
- ④ タンスや食器棚、机の引出しにストッパーを取付ける。
- ⑤ 本棚は、重い本を下段に配置。



NDSメンテ地震かるた

# 大地震 その前に.. 備えあれば憂いなし

## 緊急時の備えを万全に

ライフラインが断たれることを想定。

- ① 飲料水を1人1日3ℓ×3日分(大地震は7日分)。
- ② 火を使わない非常食3日分(大地震は7日分)を地震後に取り出しやすく、分かりやすい場所に備蓄。
- ③ 夜の地震を想定、枕元に懐中電灯を常備。  
トレーナーや厚底スニーカー(家の中でも履く)を用意。  
季節や天候で防寒着や雨具も必要。

# 大地震 その前に.. 避難ルートを知る

## 避難ルートの事前確認

避難は徒歩となります。  
ビル周りはガラスの落下が危険。  
住宅の屋根瓦の落下も危険。  
倒れた電柱の電線が道を塞ぐ  
狭い路地は危険。  
ブロック塀沿いも危険。

- ① 指定避難場所と避難路確認。
- ② ブロック塀沿いは避ける。
- ③ 高いビル沿いの道は避ける。
- ④ 狭い路地は避ける。
- ⑤ 津波避難路で高い避難先へ。

南海トラフ大地震では、最大震度7の揺れと、場所により数分で30mを超える津波が来ます。



NDSメンテ地震かるた

# 大地震 その後で.. 被災後住宅チェック

## チェックポイント

平常時でも確認できます。

- ① 窓やドアなどを開閉して、きしみ・歪みを確認。→
- ② 天井、内・外壁、床などのヒビや歪みを確認。→
- ③ 屋根・屋根瓦のズレや、欠損、欠落を確認。→
- ④ 床下への水漏れなどを点検口や換気口から確認。→
- ⑤ 土台・基礎のヒビ割れを確認。→
- ⑥ 家の周りの地面のめかるみ(液状化)を確認。→
- ⑦ 被災建築物応急危険度判定を依頼する。

## ※ 被災建築物応急危険度判定とは？

被災建築物の倒壊、部材の落下等から生じる二次災害を防ぐため、建築士等が「応急危険度判定士」として被災自治体の要請を受けて応急危険度判定を行います。地震被災建物判定には、「被災度区分判定」「罹災証明」もあります。詳しくは、お住いの自治体にお問い合わせください。

**安心の  
アフターサービス**

**365日・24時間受付体制**

「夜間・休日受付センター」などを通し、緊急のご用件でも速やかに受け、迅速に対応できるよう努めています。

**NDSメンテインフォメーション(台風21号 被害状況)**

※今回、多かった入居者様の被害。(強風による被害が大半)

<p>屋根材の被害</p> <p>棟瓦が飛ばされる</p>	<p>棟板金の被害</p> <p>飛物で瓦が割れる</p>	<p>エクステリアの被害</p> <p>強風で棟板金が飛ばされる</p>	<p>エクステリアの被害</p> <p>強風で破風が変形</p>	<p>エクステリアの被害</p> <p>フェンスが倒される</p>
-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------

皆様の建物は大丈夫ですか?今一度、住宅チェックをしてみてください!!

アフターサービス・メンテナンス・リフォームなど、お気軽にご相談ください。